

みどりと暮らす

～松戸のみどりを育てる市民活動・ボランティア～

みどりは健康的で快適な生活を与えてくれるものです。市では、「みどり」とともに暮らす豊かさを実感するため、市民・企業・行政の3者が一体となり、みどりを育てるという理念を掲げています。今号ではみどりに関する市内の受賞団体やさまざまな活動を紹介します。

みどりの愛護のつどい

令和7年6月7日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと、第36回全国「みどりの愛護」のつどいが開催されました。全国各地より緑化関係者などが集まり、事例紹介や記念植樹を行うなど、盛大に開催されました。

次ページ以降では、同つどいで表彰された、「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞団体と、千葉県都市緑化功労者知事表彰受賞団体を紹介します。



秋篠宮皇嗣殿下による植樹



秋篠宮皇嗣妃殿下による植樹



松戸市立松戸高等学校・松戸市立第四中学校による合唱



誓いの言葉を発表する市内小学校の児童

国土交通大臣表彰受賞団体



スマレ会

「雑草で覆われた歩道を四季折々の花々で彩り、道行く人の目を楽しませ、憩いの場を作りたい」との思いから、平成15年7月に花の植栽活動を始めました。さまざまな草花を組み合わせ、常時10種類以上の草花が彩る花壇を作っています。今後も道行く人に楽しんでいただき、地域の憩いの場となるような花壇を継続できるよう取り組みたいと思います。



常盤平一丁目ひまわりネットワーク

高齢者の見守りグループとして平成13年に発足し、「ひまわり公園」にひまわりを咲かせたいという思いから花壇活動を始めました。月4回の活動日は会員でない人たちも参加し、コミュニケーションを取ることで花壇活動が地域の見守り活動の役割を果たしています。また地域の人たちがみどりに触れる機会を増やすことで、みどりの活動の推進にも努めています。



常盤平環境会議

常盤平けやき通りが平成6年に「新・日本街路樹百景」に選ばれたのをきっかけに、街の環境を見直していこうとの思いから平成7年に発足しました。四季折々の草花を植付け、常盤平地区が花いっぱいの潤いのある街になることを目指して活動しています。今後も活動を通して、常盤平地区の環境美化・緑化推進に貢献できるよう、活動を続けていきます。



松戸里やま応援団

「松戸里やまボランティア入門講座」の受講生が立ち上げた14の里やま保全活動団体が、ネットワークを構成して連携を図るために組織した団体です。加入する各団体が各活動地で里やま保全活動に取り組むとともに、団体間で行う情報交換・共同作業、講習会や森を楽しむイベントなどを開催し、みどりの保全と森の価値の向上に努めています。



松戸市地区環境美化組織連合会

昭和48年5月、環境美化に努める町会の相互の連絡・協調・連携の強化を図り、松戸市の快適な環境を推進することを目的に設立しました。松戸市のきれいな街づくりのため、50年以上継続して市内の緑地帯の整備や清掃、花の植栽などの環境美化活動の他、環境美化普及啓発のための広報誌発刊など、さまざまな活動に積極的に取り組んでいます。



江戸川松戸フラワーライン実行委員会

平成7年から、地元町会や河川愛護団体をはじめとした地域の方々と、公募によるフラワーボランティアが市と「協働のまちづくり」として始めました。近隣保育園・幼稚園の園児が「フラワーキッズ」として大活躍するなど、多世代の方に種まきや草取りに参加いただき、江戸川河川敷に広がる約2haの花畑を、春はポピー、秋はコスモスの花畑として整備しています。



西馬橋環境を守る会

都市化とともに水質汚濁が進んだ川に清流を取り戻そうと、平成5年に設立しました。河川清掃や年4回の花の植替え作業など、馬橋駅前花壇の整備を行っています。季節の花に加えて花の形・色・デザインなど、趣向を凝らし作っている花壇は、同駅を利用する多くの人々に楽しんでいただいています。今後も住み良い環境維持などのため活動していきます。



松戸宿坂川献灯まつり実行委員会

河川愛護精神の醸成とかつての伝統行事の復活を目的に、平成18年に発足しました。坂川の沿道約500mに河津桜並木を整備し、桜の管理と河川周辺の美化活動を行っています。平成18年から「松戸宿坂川献灯まつり」、平成22年から「松戸宿坂川河津桜まつり」を継続して開催し、みどりと歴史文化の継承に尽力しています。



松戸西部環境を守る会

平成7年に設立し、地域住民と連携して年4回の植栽の植替え作業と水やり、除草作業、周辺の清掃を実施しています。松戸西部地域の住み良い環境づくりのため、川の清流を保護するとともに会員同士の親睦を図り、ボランティア精神を育てています。また「地域リーダー」制を採用し、リーダー間の活発な情報共有をもとに、広範囲の花壇の整備、清掃活動にも効率的に取り組んでいます。



ろっけんがわ 六間川をきれいにする会

川の清流を保護し、松戸市全地域の住みやすい環境を保つことや、楽しく住みやすい街づくりを目的に、平成6年から活動しています。30年以上にわたり六間川桜並木花壇を近隣小学校・高校の児童・生徒と共同で整備する活動を続け、花壇では1年を通して四季折々の花が楽しめます。今後も河川愛護精神、ボランティア精神を育てていきます。



県知事表彰受賞団体



あじさいイーグルス ソフトボール部

新松戸7丁目町会「あじさい子ども会」所属のソフトボールチームである同団体は、新松戸にある「あじさい公園」や「あかしあ公園」で月に4回ほどごみ拾いなどの清掃作業を行っています。これからも清掃作業を通じた地域貢献ができるようチーム一丸となって取り組んでいきます。



小金原2丁目町会

秋から冬にかけて、近隣住民を中心に10人から多い時には90人ほどが集まり、落ち葉の清掃を行っています。また、町会内で結成された「小金原2丁目ガーデニングクラブ」が花壇づくりなど、みどりの愛護に関する活動を広げ、地域活性化に向けて積極的に取り組んでいます。



じんがまえ 陣ヶ前太陽クラブ

旭ヶ丘第1公園で月に4回、除草・清掃作業や遊具の点検などを行っています。これからも愛護活動を続けていき、公園利用者の公園愛護意識を高め、子どもから大人まで笑顔が溢れるふれあいの場となるよう活動を続けていきます。



ひのくち 樋野口町会

樋野口地域には、樋野口公園・つつみ公園・太郎公園があり、各公園の除草・清掃作業や遊具の点検などを行っています。また、毎年恒例の盆踊りや定期的にパトロールを実施するなど、地域活性化のためにさまざまな取り組みを積極的に行っています。



ニッ木子ども会 育成会

地域を基盤とし、子どもたちの心身の健全な育成を目的に、上ノ台公園内の落ち葉掃きやごみの収集を行っています。今後も清掃活動や地域の活性化に取り組み、子どもたちの地域への愛着を育み、公園が笑顔あふれる憩いの場となるよう活動を続けていきます。



ブルーミングガーデン 松戸南自治会

北総線松飛台駅近くにある関台公園でごみ拾いなどの清掃作業と遊具点検などを18年以上継続して行っています。また、花壇づくりにも取り組み、年間を通して四季折々の花の苗を育てる、みどりの愛護に関する活動も行っています。



南花島子ども会 ソフトボール部

市の中心地に位置する南花島公園でごみ拾いなどの清掃作業や遊具点検を行っています。また、近くの小学校でソフトボールの練習や大会に出場しながら、四季を通じて伝統行事である夕涼み会や運動会などを行い、地域活性化のためにさまざまな活動に取り組んでいます。



みやこだい 三矢小台三丁目町会

寺沢公園で、主に公園内の除草や清掃作業、遊具の点検などを地域住民が一体となって行っています。活動する時は町会全世帯に声掛けをしており、毎週日曜日に20人ほどが参加し、地域の人たちと会話を楽しみながら、和やかな雰囲気で行っています。



六実連合町会

地域住民を中心に30人ほどが集まり、月に3～4回ほど六実中央公園の除草や清掃作業、遊具の点検などを行っています。また、「朝の体操友の会」として花壇づくりにも取り組み、年間を通して四季折々の花の苗を育てるなど、みどりの愛護に関する活動も行っています。



ゆうかり町会

老人会の「ゆうかりクラブ」と子ども会の「ゆうかり子ども会」が活動している同町会では、新松戸南公園の清掃を月に5～6回行い、公園や地域的美観の向上に貢献しています。また、老人会では花壇づくりも積極的に行い、約10㎡の花壇は四季折々の花で彩られ、地域の憩いの場となっています。



りょうぼうだい 竜房台自治会

16年以上にわたって八ヶ崎公園のごみ拾いや落ち葉清掃、遊具の施設点検などを行っています。この活動を後世にも引き継いでいくべきだという思いから、現在は子ども会が中心となって20人ほどが集まり、清掃活動を実施しています。



わかたけ子ども会 育成会

子どもたちの健全を図ることを目的に設立された同会は、かぶと公園のごみ拾いなどの清掃作業を行っています。また、その他にも工場の見学や栗拾い、いちご狩り、バーベキュー場でカレーづくりなど、子どもたちの交流を見守りながら活動に取り組んでいます。



みどりに関わるさまざまな活動を紹介します

花いっぱい運動(花壇ボランティア)

☎みどりと花の課 ☎047-366-7378

市では、花いっぱい運動の一環として、市民の皆さんが日々の花壇管理を担い、市が花苗の提供などの支援を行う、花いっぱいの街づくりを推進しています。

支援条件

活動場所:公園、道路、河川などの公共用地、もしくは多数の市民の目に留まる場所

対象:自治会、町会、花の好きなグループ(会員数が5人以上)で継続して活動できる団体

支援内容 ●年3回の草花の配付(自身で育てた草花も植栽可)

●土改良材や、縁取り資材などの提供 ●花壇づくりの協力

※詳細は市ホームページをご覧ください。



市ホームページ



松戸花壇づくりネットワーク

松戸花壇づくりネットワークは、市内各地域で花壇づくりをしている花の愛護団体が集まってできた組織です。金ケ作育苗圃を拠点とした種からの花苗づくりや、緑と花のフェスティバル・まつど大農業まつりへの参加、花壇見学会や花づくり体験講座などの活動を行っています。



松戸の里やま保全活動

☎みどりと花の課 ☎047-366-7378

かつては人々の暮らしのすぐそばに森があり、適度に人の手が入ることで豊かな環境が守られている「里山」がありました。近年は生活スタイルの変化に伴い管理が行き届かなくなり、森の所有者は、先祖から引き継いだ森を残すために大変苦労されていましたが、平成8年「関さんの森」にはじめてボランティアが入りました。これがモデルケースとなり、市内に里やま保全活動が広がっていきました。現在では市内18カ所の森で里やま保全団体が活動しています。

「里やまボランティア入門講座」と「松戸里やま応援団」

平成15年度に「里やまボランティア入門講座」が、市民と行政との協働で実施されました。この入門講座の修了生が「松戸里やま応援団・一起の会」を立ち上げ、市の里山活動が活性化しました。

「里やまボランティア入門講座」は毎年行われており、現在はこの講座の修了生が「松戸里やま応援団」として、所有者の理解のもと森で活動をしています。



里やまボランティア入門講座

松戸の森のガイドブック「まつど森ずかん」

里やま保全活動に関する情報や、活動場所の森の紹介、森に関するコラムなどを掲載したガイドブックです。



まつど森ずかん



「まつど森ずかん」

緑化愛護団体等助成金

☎(公財)松戸みどりと花の基金 ☎047-710-2851

市内各地域の公園・道路などで、花壇づくりや樹林地保全活動を行う団体に対して活動経費の一部を助成します。詳細は同基金ホームページをご覧ください。

対象:市内で①花壇活動②里やま保全活動をする5人以上の非営利団体

助成額:年間①1㎡あたり2,000円(上限70,000円)②上限50,000円、道具・機材等の更新は上限50,000円(新規の場合100,000円) ※他団体から同種の助成を受けている場合は対象外。

申請期限:毎年6月30日(必着)(休日の場合は直前の平日)



同基金
ホームページ

みどりと暮らす。松戸に暮らす。豊かに暮らす。

“松戸のみどり”のPR動画を制作しました

☎広報広聴課シティプロモーション担当室 ☎047-366-7320

都心に近いまちでありながら市内各所にさまざまな“みどり”が溢れている松戸市の魅力を伝える動画「Green! Green! Matsudo」を市公式YouTubeチャンネル「まっちゃんねる」で公開しています。みどりと共存するまちの魅力が伝わる動画をぜひご覧ください。



まっちゃんねる